

ず、

浄暗の中、

恙なく遷御なされました。

前陣

大神様の御威光か雨は降ら

雨の予報でしたが、

拝をさせていただきました。

お白石持行事

平成25年8月12日 内宮 宇治橋前

ました。 二旦

光栄にも、

私は外宮遷御の儀の特別奉

当日、

伊勢地方は

(外宮)

では五日に齋行され

である遷御の儀が、

皇大神宮

(内宮)

で一〇月

### 新年のご挨拶

宮司

澤

 $\mathbb{H}$ 

政

泰

ならびに皇室のご安泰はもとより、 第六十二回 ご発展を心より祈念い 神宮式年遷宮の 新春を迎え、 中心的祭儀 玉 運 0

物だけでは無く心も新しくなる「常若 ました。二〇年毎に御社殿はもとより、 日本人に生まれて良かったと感慨深い物があり に続き目の前を絹垣に囲まれ神宮大宮司 神髄を目の当たりに見た一日でした。 時には、此時に此処に居る事ができた幸せに、 禰宜に奉持された「御」がお渡りになられ の神社では、 神宮等の有名大社 遷御なされる事で、 . の 様 御装束 · 小 小 宮

ゆづるは神社社報 発 行 所 弓弦羽神社社務所 〒658-0048 (旧地名:弓弦羽ノ森) TEL 078(851)2800 FAX 078(851)2803 印 刷 (株) マテックス 神戸市中央区筒井町2丁目1-38 新車は必ず交通安全祈祷にご参拝ください

神戸市東灘区御影郡家2丁目9-27

平成26年1月1日

URL=http://www.yuzuruha-jinja.jp/

合わせ、 は式難年 事が多くあります。 寄進のお願いも出来ない 「座の○百年とか、 (決まっ 社殿の改築や境内整備事業を展開する 社殿等が古くなったからと言って御 た間 隔 神宮式年遷宮等の で のが現状です。 の造営や改 そこで、 慶事に

年間で返済の予定となっております。 らの借り入れによるもので、平成三十 神戸市所有の土地約四〇坪を、 殿を少し広く使える様に改修し、鳥居の西側 進をお願いする)は、ご遠慮いたしましたが、 その為、この度の御遷宮に合わせての事業(御寄 力添えによるものと深く感謝いたしております。 よいよ隆昌となりました事は、 拝殿大屋根葺替と次々と復興事業を進め、 居・社務所・手水舎の再建、 当社では、 たしました。 平成七年の阪神淡路 土地代金の三分の二は、 四阿の建立、 将来の為に購入 一重に皆様方の 五年迄十 銀行 社頭 更には 拝

午生で今年還暦となります。 産まれた歳に戻って心機一 私事ですが、 私は、 遷宮による常若の 昭和 転 頑 九

## 神宮 「おヨコ寺庁事 崇敬会旅行

# 神宮「お白石持行事」に参加して

中御影 砂田恭秀

棟

.持柱の太さ及び長さの雄大さに感心しました。

0

原寸大の

御

正殿

の 一

部が見ることが出来、

間近で見る

暑い午

口

0

遷宮に合わせて建設された「せんぐう館」では外宮

0) É 0) 行 が の神宮崇敬者にも (第六十回式年遷宮) 石 参加として行 第六十二 弓弦羽 みの参加でしたが 事のひとつ「お白石持行 持行事 神社崇敬会恒 は П 伊勢在 伊勢神宮式年 わ n 日 ま 住 より 例 神領民 兀 0 した。  $\bigcirc$ 神 0 遷宮 全 车 <del>.i</del>領 旅 事 前 É お 玉 行



左 砂田氏 右 宮司

隣 は、 眺 朝 お白 L しきたり通り先に外宮参拝を一 の「浜参宮」にてお祓いを受けるため、 め に御影を出発し、 て参加 は新 茅葺 ...石持の旅程となりました。 外宮に参りました。 屋 が可能になったようです。 根 61 は苔む 御正殿 お祓いを受け、 0 あちこちに傷みが見られました。 部を見ることが出来ました。今 二十年経過した外宮の 盆 日目に、 一前 久しぶりの夫婦岩を 前日に二 の八月十 一泊二日となり、 二日目に内宮 見興玉神社 日 御 0 暑 正 殿 0) 13

> 曳車 後に少しばて気味でありましたが、 る様になってい を首から提げて集合しました。この木札は、 の身支度を整え午前六時半に旅館を出、 白のシャツ、 「勢」 「神」 「宮」の文字・木玉の数で綱を引く位置が分か 콧 -の 出 朝 は午前 発地点の 神宮より支給の白い法被、 五時起床、 ・ます。 おはらいまちに着き、 私たちは、 入浴して体を清め、 紐 0) 日目を終えました。 色がみどり いく 参 お白 加 紐 |石を運 靴 証 の色・「 白 下に白靴 0 で朝 0) 鉢 木 Š 伊 札 奉

番出 ました。 0 伊 伊 数 で進行方向右側 61 掛け .勢の ĺ 綱を引き、 勢音頭 発の奉曳車で、文字が 声と共に奉曳車の 神領民や皇学館大学生の 個 地元の皆さんの冷茶接 で、 を聴き、「エンヤー 内 綱 |宮の 0 0 綱で、木玉の 先頭でした。 方向 真新 「伊」 進



「参宮証」の木札

出

0

常

たことは喜ば

ました。

無事

に

0

神

領

民

0

皆様

に感謝

た。

お白

|石行事

先

導

0

伊

られた二日間

でもあ

ń

ŧ

中今」を目

0

大勢の チュア奉曳車を頂戴し、 領 番 檜 き氷が心 心ゆくまで観察し、 がしい木立ちの間を進みました。 た白い 待を受け、 来、 峎 0 の香り漂う御 は約四万人で、 出発で涼しい午 布で包む様にお白石を頂き、 記念品として、 地よ 道 綱を放 棟持柱、 11 神 正殿に着き、近くにお白石を置きました。 暑 髄 1 延べ 橋まで戻り記念撮影しました。 前 屋根の千木、 宇治橋を渡り、 日でしたが、 九時過ぎに終了しました。 三十分の一 家宝に加えたいと思います。 四 + 口 兀 欄干の上の宝玉などを 0) 重の 奉 0) 式年遷宮行事に参 厳かな内にもすがす 叓 手 オ 垣 車 を清 ル 根の中に進み、 ゴ が運行との ] め ル 付 配 Н 朝 · · · · · 5 事 加 か 神 n

した。

遷宮が滞りなく行わ あたりに感じ しい事と思 若 勢

### 記念品「ミニチュア奉曳車」

### 兵庫 東神社関係者大会

に生田神社会館にて開 会を開 路 宮大宮司 の七地区に分け、 兵庫県下を神戸 催 L (代理) てい 、ます。 等の来賓を含め約四三〇名が参加 毎年 阪 催され、 本 神 頄 车 摂丹 は 番に各地区にて神社 神 神社本庁統理 戸 東 地 播 区主管で、 西 播 (代理) 関係者大 但 九 月三 馬 ま 神 Н 淡

績者表彰を受けられました。 名の責任役員の方が表彰の栄に浴されました。 大会の中で市内 六六名の神社役員 弓弦羽神社から 総代 ú 0 左 方 記 々 が 0 五 功

### 郡 家

岬

谷田雅· 夫 様

東之町

坪 岜 煎 様

中之町

絹 Ш 場 煎 様

弓

原 久 様

藤

西之町

鍵田武志 様

لو

曲

### 功績者表彰

あなたは夙に敬神の念篤く永年に亘り宮司を扶けて

御神徳の発揚 赤誠を以て奉仕され斯道の興隆に寄与されました 祭祀の厳修 社頭の護持運営に

功績は 洵に顕著であります

兹に兵庫県神社関係者大会を開催するにあたり

その功績を称え表彰します

平成二十五年九月三日

**兵庫県神社廳長** 原 正 克

### 七月 十二日 日 月次祭

神社庁・総代会合同会議

兵庫県神社庁・湊川神社参集殿

宮司 出席

月釜 (裏千家・渋谷宗雅)

十四日

士五日 兵庫県教誨師会 神戸拘置所 役員会 宮司

出席

十八日 神社庁神戸市支部東灘部会例会

並びに先賢慰霊祭

於 三王神社 宮司 職 蒷 出席

二十一日

夏祭・崇敬会大祭

一十六日

神社庁

月次祭

### 参列二十三名

於 兵庫県神社庁役員会・支部長会・協議員会 兵庫県神社庁・湊川神社参集殿

ゅ

宮司 参列 出

八月 日 月次祭

日 拝殿改修 安全祈願祭

十二十二日 崇敬会旅行

神社庁 月次祭 役員会

神宮「お白石持ち行事」

参加

二十三日 兵庫県神社庁 宮司 参列

二十七二十八日 兵庫県神社庁神戸市支部

現任神職研修会

生田神社会館 宮司 参加

兵庫県神社庁神戸市支役員会

二十七日

九月 於 生田神社会館 宮司 出席

### 三日 日 月次祭 兵庫県神社関係者大会

(神戸市支部 主管

生田神社会館

於

宮司 職員 総代 参加



神社関係者 大会 於:生田神社会館

十月

吾 日

神宮大麻頒布推進会議

神宮大麻歴頒布始祭

五六日

出席

於 (伊勢) 神宮・神宮会館

月釜 大阪矯正管区教誨師会役員会 (裏千家·神戸市茶道親和会) 宮司 参列・出席

> 於 北御堂会館

> > 宮司

出 席

十四日 日岡神社 日岡宮司

特級昇進祝賀会

宮司

出席

二十日 生田神社例祭 加古川プラザホテル

二十五日 卒寿を祝う会 伊弉諾神宮 浦上名誉宮司

二十七日 神社庁 月次祭 役員会

於 ホテルニュー淡路

宮司

出席

兵庫県神社庁

宮司 参列

出席

於 同 兵庫県神社庁神戸市支役員会 湊川神社 出席

月次祭

豊受大神宮 (外宮) 遷御の儀 宮司 奉拝

湊川神社 出席

九日

兵庫県神社庁神戸市支役員会

同 兵庫県神社庁

於 兵庫県神社庁 神宮大麻・歴頒布始祭 宮司 参列

士昌 月釜 (裏千家・藤田宗芳)

兼務社

(西平野) 厳島神社

十月十五日 例祭 参列三十四名

西之町

富玉稲荷

例祭

二十九日 神社庁神戸市支部

先賢慰霊祭 北区・湯泉神社 神宮大麻・暦頒布始祭 有馬兵衛向陽閣

参列 参加



祭典御奉仕 (中御影総代) 加納準 氏 左 笹間 氏

十一月一日 月次祭

六日 兵庫県神戸護国神社秋季慰霊大祭

宮司 奉仕

大阪矯正管区教誨師

役員会 並びに 研修大会

出席

ゅ

十九日

士昌

神戸拘置所

「みおや祭」

十二日

神戸拘置所教誨師研修会

神社庁 月次祭 南御堂会館 役員会 宮司

二十一日

兵庫県神社庁

宮司 参列 出席

二十三日

焼き芋大会

十五日

二十五日 第六二回神宮式年遷宮記念 全国神社関係者大会

三重県営サンアリーナ

宮司

近畿神社庁連合総会 琵琶湖ホテル 宮司 出席 出席

二十九日

十二月一日 月次祭

百 神社庁神戸市支部東灘部会例会

本住吉神社

宮司 職 蒷

出 席

神社庁神戸市支部役員会 生田神社会館 宮司 出席

三日

吾 兵庫県教誨師会役員会

神戸拘置所 宮司 出席

六日 兵庫県神道教誨師研修会

月釜 生田神社会館 (江戸千家・渡辺宗倫季) 宮司 出席

八日

古 神道政治連盟兵庫県本部

役員会

時局講演会

生田神社会館 宮司 出席

神戸拘置所 宮司 出席

士昌 神社庁 月次祭

兵庫県神社庁役員会・支部長会・協議員会 兵庫県神社庁・湊川神社参集殿

宮司 参列

総代会・年末年始行事打合

弓弦羽神社崇敬会 主催

三十一日

年越「大祓」·除夜祭

平成二十六年

上半期行事予定

月一 日 歳旦祭

十四日 三日 御保岐祭 元始祭

士五日 「とんど」

正月〆飾り・古札御焚上

二十六日 月次祭 祭礼打合せ 初会

月一日

九日 月釜(裏千家・政

二十三日 祈年祭

三月一日 月次祭

九日 月釜 (裏千家・森本社中若草会)

四月一日 月次祭

十三日 月釜(裏千家・守谷宗礼

五月一日 月次祭

春季大祭

四日 地車祭 (地車宮入)

十一日 月釜(表千家・市川社中花みずき会)

六月一日 月次祭

月釜 (裏千家・髙濵宗益)

三十日 夏越「大祓

### 平 成 祭礼等奉賛者御 车 度 下 期

方々の芳名を録し、 ますことは御同慶にたえません。ここに御篤志の によって、逐年、神威の高揚と社頭の隆昌とを仰ぎ 備品が数多く奉献せられ、 崇敬会大祭・例祭など、 厚く感謝の意を表します。 例年特別の玉串料並びに献 御神徳を景仰される方々

### 崇敬会大祭 七月十五日

[玉串料]

御影 町 地 江 地 車 自 自 眀 保 治 存 会 子代彦久隆仁 会

【献品】 御影西町財産区保存会 お茶一ケース 絹 Ш

魚

海

滋

いわたえん

### 十月十五日

池安

田田井

英

県

神

社

山柳

直 亮

 $\mathbb{H}$ 

[玉串料]

藤 夏 谷

澤

福

男 郎

岩

弘

福

藤 平

 $\mathbf{H}$ 

御 影 影 地 場 車 戸 自 市 保 治 支 存 部 会 会 館

### 【献酒

無池芦

英 神

田屋

代 社

御影本町五六会自治会

郎

### 大田食料品店

御 香 中

川加一

信 裕

司 正 次

茶

Ж

原 形

夏

房

原本

若 郎 男

上

御

影 区

力

会

廣

和

圕

節 裕

子

自 協

献

酒

宗

酒

造

御影本町五六会

御影西町財産区

西垣内聖一

平

田

俊 彦 子

郡安藤

井 原

家

地

区

自

治

会

お茶一ケース 絹 Ш

大田食料

### 月次祭

庵

高 或 奥 大 羽 田 幼 稚 商 袁 田川 理事 節 智 長

う

忠

文

田竹

中

田

雅

夫 子

雄

房

次

田

黒 雄 久 隆

原 田 え

渋 神 市

> 和 道

会 部 N

雅

いただきます

藤 辺 田 谷 宗 宗

芳

御 中 剣 影 御 ※西町 影 地 車 酒 保 自 1治会 存 会 造

田原 享久夫

原田

【献品】 花

子

品 郎 店

子 (株) 店

お焚き上げ出来るもの 正月の〆飾り(橙は外して下さい)

(成人の日では有りません)

袋・包紙等はお持ちかえり下さ 神札・御守・破魔矢等

\*

出来ないもの 鏡餅等のお供え(燃えません) 書き初め・葉書・手紙・祝儀袋

時間外のお預かりはいたしません。 (燃えた紙が舞い上がり危険です) 受け付け出来ない物はお持ち帰り

### お願 (1

おります。 いますので、 や古札のお焼上げをしております。 環境問題並びに、後片付けの負担もござ 当社では、 い申しあげます。 何卒、 左記の様にさせていただいて 一月十五日に、 御協力下さいますようお 正月の〆飾



日時



### 新春行事

### 御絮吃

元旦午前零時 (1日)

午前

零時

『**新年特別昇緻參拝**』(干支桝·五色米授与)

初穂料 御1人千円 先着50名様限

『鏡開』 離の旨猶含み比べ(総料)

● 先着 2,000名 干支の塗枡プレゼント 0時00分(1,300個)と10時00分(各700個)

2日 正午 ~ 3時『**躺春茶席**』於:社務所大玄関 (お茶+お菓子500円) 御奉仕:裏千家淡交会神戸第一支部青年部連絡会

● 『新春~番祈祷』 家内安全·心願成就·心身健康·商売繁盛

厄除開運・交通安全・縁結び等

受付時間 1日 午前零時30分 ~ 午後6時

2日以降 午前9時30分 ~ 午後4時 8,000円以上お心持ち

● 『会社繁栄祈願・寄全祈願祈祷』 1日~15日まで

☆ 重なる場合がございますので、なるべくご予約下さい ☎ 078-851-2800

### 『年祝』のお勧め

日本には、昔から長寿を祝う風習があります。これまでの神様のご加護に感謝するとともに、更に今後の長寿息災を祈願することを『年祝(としゆわい)』あるいは『算賀祭(さんがさい)』と言います。平成26年は下記の方がその歳にあたります。これらのお祝いの年には、本社に参拝して無事に人生を送れたことへの感謝と喜びを神さまに奉告し、ご家族そろってお祝いされると良いでしょう。

年	祝	かぞえどし	生まれ年	謂われ
湿		61歳	昭和29年生	再び生れた年の干支に還る
业扣	希	70歳	昭和20年生	「人生七十古来稀也」杜甫の曲江詩
咖	寿	77歳	昭和13年生	喜の略字が「七十七」
±A 傘		80歳	昭和10年生	傘の略字が「八十」
$\overset{\sim}{*}$		88歳	昭和 2年生	米の字を分解すると「八十八」
卒		90歳	大正14年生	卒の異体字「卆」が「九十」
当白	寿	99歳	大正 5年生	百の字から一をとれば「白」
L.	寿	100歳	大正 4年生	長寿を3段階に分けた最上位

### 『年祝』の御初穂料は 壱萬円以上 お心持ちとさせていただいております。

新春又は、お誕生日に近い日にご家族揃われて『年祝』をお受けになられる事をお勧めいたします。 随時受け付けておりますので社務所迄お申し出下さい。 ※一般に『算賀祭』は数え年で行いますが、満年齢でされても良いでしょう。

### 平成26年度 厄年表(数え年)

男性		女性				
平成2年生 <b>25歳</b> 午(うま)	厄年	平成8年生 <b>19歳</b> 子(ね)				
昭和49年生 <b>41歳</b> 寅(とら)	前厄	昭和58年生 <b>32歳</b> 亥(い)				
昭和48年生 <b>42歳</b> 丑(うし)	大厄	昭和57年生 <b>33歳</b> 戌(いぬ)				
昭和47年生 <b>43歳</b> 子(ね)	後厄	昭和56年生 <b>34歳</b> 酉(とり)				
還曆 61歳 昭和29年生午(うま)	厄年	昭和53年生 午(うま) 37歳 昭和29年生 遺暦 61歳				

厄年の人は、神社に参拝して『厄除祈祷』を受けられて 清々しい気持で一年を過ごしましょう。 ご祈祷は、随時受け付けておりますが、元旦より 節分までの間にお受けになられるのが良いと思います。

御初穂料 お一人 8千円以上お心持ち ご夫婦揃ってお受けの場合は 1万円以上お心持ちとさせていただいております

跨什认為味慮



**〒658-0054** 神戸市東灘区御影中町4丁目8-25 TEL 078-856-5791 営業時間 5:00PM~10:00PM 每週水曜日定休

### 米工房

Komessake

0120-05-5138

灘の地酒・ワイン 六甲ビール・こだわり焼酎 (山手幹線沿い山側)

MAISON DECOR DESIGNER FABRICS

MAISON DECOR

メゾンデコール 東灘区御影郡家1丁目25-12 グレイス御影1F PHONE 078-854-5810 F A X 078-854-5786 営業時間 AM10:30~PM6:30 水曜定休

美しい布のある暮らしを提案します

襖・表装・屏風 各種壁張

錦綾堂

### 夏原表具店

東灘区御影2丁目2-17 (阪急御影駅前東)

電話(078)851-8310 FAX (078) 851-8310



### (協)御影市場(旨水館)

(阪神電車 御影駅高架下) 神戸市東灘区御影本町4-11-10 TEL(078)841-2954

### おまかせください!

のぼり 幕 法被 たすき 提灯 太鼓 その他祭礼用品

神戸市兵庫区水木通6-3-4 TEL 078-575-7721 FAX 078-575-7621



〒658-0047 神戸市東灘区御影 2丁目10-27 エレガントライフ御影301 TEL&FAX:078-851-3114 営業時間:午前10時~午後6時

定 休 日:毎週火曜日

ホームページ: https://sites.google.com/site/mikageiwataen

業享和

元年

灘区御影本町四丁目 (八五 园

話〇七八

YAKINIKU RESTAURANT



東灘区御影郡家1丁目21-15 TEL(078)842-3319 FAX(078)842-3398



一神戸支店-神戸市東灘区御影本町4-12-28 御影旨水館内

電話 078-851-3400 http://butsuji-ikejiri.com/ カラオケ喫茶・スナック



カラオケ・喫茶 午後1時~午後4時30分 (日・祝 休み) 午後7時~午後11時30分 スナック (日・祝 休み)

神戸市東灘区御影本町4丁目12-7 電話(078)854-0499

劝

ば

阪神御影 御影中町1丁目 4·15 TEL 851-2695

SANYO AIR SERVICE CO..LTD 地球規模の感動を届けたい

御戸No. 1 の店舗ネットターク 三洋航空サービス

http://www.travelsas.co.jp



神戸市東灘区御影中町4丁目 電話 078(851)4677番代

有限会社 泉勇之介商店 **〒** 658 **−** 0044 神戸市東灘区御影塚町 1丁目2-7 TEL. 078 (851) 2722 FAX. 078 (851) 2663

http://www.nadaizumi.co.jp



六甲山の麓

磨きぬかれた 清酒あり。



辛口ひとすじ

神戸・灘 菊正宗酒造株式会社

菊正宗ホームページ http://www.kikumasamune.co.ip